

1. 演習名：マイグレーション・スタディーズ演習
2. 担当者：佐藤量
3. 開講日・曜日・時限：火曜・3限
4. 演習内容：

この演習では、移民 (migration) と日本社会をめぐる諸問題について考えます。

とりわけ「移民の地域定着と多文化共生」をテーマとして、日本社会が移民問題とどのように向き合ってきたのか、これからどのように向き合っていくべきかを考えます。

また技能実習生など外国人労働者に代表される移民問題を一時的な社会現象として捉えるのではなく、歴史的時間軸や他国との比較軸から俯瞰的に考えていきましょう。移民を考えることは、「他者」について考えることであり、「他者」と向き合う「私たち」について振り返りことでもあります。本演習を通して、越境者を含む共生社会はいかにして実現可能かを考えることを目指します。

演習の方法としては、基礎的文献を分担して講読し、その後、関連する自身の研究内容について報告・ディスカッションします。

5. 評価方法：授業への参加の度合いと期末レポート
6. 履修上の注意事項：
演習で購読する文献を事前に読み、準備をして演習に臨み、授業中は積極的に発言することが望まれます。研究テーマをある程度考えていること。
7. 担当教員の紹介
専門領域は、比較社会学、移民研究、オーラル・ヒストリー研究です。特に満洲や朝鮮などに移住し、戦後帰還した引揚者への質的調査を続け、戦後の生活再建や地域定着について考えてきました。中国（大連市）や日本各地（京都、水俣、奄美、飯田、広島な

ど) でフィールドワークを行っています。

主要著書は、佐藤量・菅野智博・湯川真樹江編『戦後日本の満洲記憶』(東方書店、2020年)／佐藤量『戦後日本社会と同窓会』(彩流社、2016年)など。